

《特定事業主行動計画》計画策定に係る職員アンケート

【設問 1】 あなたの性別をお伺いします。

- ・ 男性
- ・ 女性
- ・ 男性か女性か答えることに抵抗を感じる

【設問 2】 あなたの年齢をお伺いします。(基準日：R3.2.1)

- ・ 20歳代以下
- ・ 30歳代
- ・ 40歳代
- ・ 50歳代以上

【設問 3】 あなたの勤務地はどちらですか。

- ・ 本庁
- ・ 支所
- ・ 本庁、支所以外の事務所等

【設問 4】 配偶者の就労状況等について、当てはまるもの1つを選択してください。

- ・ 公務職場で正規職員として勤務
- ・ 民間企業で正規職員として勤務
- ・ 公務職場で非正規職員として勤務
- ・ 民間企業で非正規職員として勤務
- ・ 自営業（農業含む）
- ・ 無職
- ・ 配偶者なし
- ・ その他

【設問 5】 あなたの子育て経験についてお伺いします。

※ 基準日（R3.2.1）において出産が明らかとなっている職員（男性・女性）は、（予定がある）を選択

- ・ ある（予定がある）
- ・ ない

【設問 6】 現在、あなたは18歳以下の子どもを養育していますか。

※ 設問5で「ある（予定がある）」のうち（予定がある）に該当する職員は対象外

- ・ 養育している
- ・ 養育していない

【設問 7】 養育している 18 歳以下の子どもは何人ですか。

- ・ 1 人
- ・ 2 人
- ・ 3 人
- ・ 4 人
- ・ 5 人以上

【設問 8】 養育している 18 歳以下の子どもの世代に当てはまるもののものを全てを選択してください。

- ・ 乳児（0～1 歳）
- ・ 幼児（2～6 歳）
- ・ 小学生（7～12 歳）
- ・ 中学生（13～15 歳）
- ・ 高校生又は 16～18 歳

【設問 9】 あなたの育児休業の取得状況について、当てはまるものを全てを選択してください。

※ 設問 5 で「ある（予定がある）」のうち（予定がある）に該当する職員は対象外

※ 第 1 子は取得せず、第 2 子の時に取得した等の場合はどちらも選択

- ・ 取得した
- ・ 取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）
- ・ 取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）
- ・ 取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）
- ・ 取得しなかった（理由：無給になるから）
- ・ 取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・ 取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・ 取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・ 取得しなかった（理由：その他）

【設問 10】 育児休業を取得した場合、請求により育児休業手当金が支払われることを知っていますか。

- ・ 知っている
- ・ 知らない

【設問 11】 育児休業を取得した動機について、当てはまるものを全てを選択してください。

- ・ 自分以外に育児をする人がいなかったから
- ・ 親として当然と考えたから
- ・ 乳幼児期の大切な時期を一緒に過ごしたかったから
- ・ 配偶者が希望したから
- ・ 配偶者が病弱だから
- ・ その他

【設問 12】 設問 11 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 13】 育児休業の取得期間についてお伺いします。育児休業は子どもが3歳になるまで取得できます。あなたが育児休業を取得する際に考慮した取得期間の理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・子どもが3歳になるまで取得した
- ・自分以外に育児をする人がいなかったこと
- ・出産後の体調が思わしくなかったこと
- ・子どもの体調が思わしくなかったこと
- ・職場に迷惑をかけること
- ・職場復帰後、仕事についていけるか等不安があったこと
- ・家計が苦しくなること
- ・職場が取得しにくい雰囲気であったこと
- ・育児休業を取得することに抵抗を感じたこと
- ・制度の詳細を知らず、取得期間が分からなかったこと
- ・その他

【設問 14】 設問 13 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 15】 育児休業を取得しようとする際、心配となった点について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・担当業務が中途半端な状態になること
- ・業務の遂行に支障が生じ、他の職員への負担が増すこと
- ・昇級に差がつくこと
- ・職場の理解を得にくいこと
- ・経済的に厳しくなること
- ・その他

【設問 16】 設問 15 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 17】 あなたは配偶者から育児休業の取得を求められましたか。

- ・求められた
- ・求められなかった

【設問 18】 本市では、これまで男性職員の育児休業の取得が進まない状況ですが、育児休業を取得しない（できない）要因として、当てはまると思うもの全てを選んでください。

- ・仕事にやりがいを感じているため
- ・職場に迷惑がかかるため
- ・業務が繁忙であるため
- ・昇級に差がつくと思うため

- ・復職後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思うため
- ・家計が苦しくなるため
- ・配偶者が取得すれば十分であると思うため
- ・自分以外に育児をする人がいるため
- ・職場が取得しにくい雰囲気であるため
- ・年休や特別休暇の取得で十分であると思うため
- ・取得することに抵抗を感じるため
- ・当時制度がなかったため
- ・その他

【設問 19】 設問 18 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 20】 育児休業の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・業務遂行体制の工夫・見直し
- ・職場の意識改革
- ・休業期間中の経済的支援の拡充
- ・制度の内容に関する情報提供
- ・取得経験者からの体験談等の情報提供
- ・休業者に対する職場の状況に関する情報提供
- ・職場復帰時の研修等の支援
- ・その他

【設問 21】 設問 20 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 22】 母性保護の観点から現在制度化されている妊娠中及び出産後に関する休暇や制度について、知っているもの全てを選択してください。

- ・妊娠通院の特別休暇
- ・妊娠障害休暇の特別休暇
- ・危険有害業務の就業制限
- ・産前産後休暇
- ・育児時間の特別休暇
- ・深夜勤務及び時間外勤務の制限
- ・配偶者出産にかかる出産補助休暇
- ・配偶者出産にかかる育児参加休暇

【設問 23】 「妊娠通院の特別休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・取得した
- ・取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）
- ・取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）

- ・取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）
- ・取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・取得しなかった（理由：その他）

【設問 24】「妊娠障害休暇の特別休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・取得した
- ・取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）
- ・取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）
- ・取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）
- ・取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・取得しなかった（理由：その他）

【設問 25】「危険有害業務の就業制限」について、職場の理解はどのような状況ですか。当てはまるもの全てを選択してください。

- ・十分理解があり、勤務形態に合理的配慮がある（管理職）
- ・十分理解があり、勤務形態に合理的配慮がある（直属上司）
- ・十分理解があり、勤務形態に合理的配慮がある（周辺職員）
- ・理解はあるが特段の配慮はない（管理職）
- ・理解はあるが特段の配慮はない（直属上司）
- ・理解はあるが特段の配慮はない（周辺職員）
- ・制限の配慮は感じられない（職場）

【設問 26】「産前産後休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・取得した
- ・取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）
- ・取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）
- ・取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）
- ・取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・取得しなかった（理由：その他）

【設問 27】「育児時間の特別休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

※ 設問 5 で「ある（予定がある）」のうち（予定がある）とした職員は対象外

- ・取得した
- ・取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）

- ・取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）
- ・取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）
- ・取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・取得しなかった（理由：その他）

【設問 28】「深夜勤務及び時間外勤務の制限」について、当てはまるもの全てを選択してください。

※ 設問 5 で「ある（予定がある）」のうち（予定がある）とした職員は対象外

- ・制限の請求を行った
- ・制限の請求は行っていない
- ・制度を知らない（知らなかった）
- ・当時制度がなかった
- ・その他

【設問 29】「配偶者出産に係る出産補助休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・付与された日数の全てを取得した
- ・付与された日数の一部を取得した
- ・取得しなかった
- ・制度がなかった

【設問 30】「付与された日数の一部を取得した」「取得しなかった」の理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・全日数を取得する必要がなかったから
- ・職場に迷惑をかけるから
- ・業務が多忙であったから
- ・職場が行使しにくい雰囲気であったから
- ・制度をよく知らず、取得できるか分からなかったから
- ・年次有給休暇で対応した
- ・その他

【設問 31】 設問 30 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 32】「配偶者出産にかかる育児参加休暇」の取得について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・取得した
- ・取得しなかった（理由：取得する必要がなかった）
- ・取得しなかった（理由：職場に迷惑をかけるから）
- ・取得しなかった（理由：業務が多忙であったから）

- ・取得しなかった（理由：行使しにくい職場環境だったから）
- ・取得しなかった（理由：手続き方法が分からなかったから）
- ・取得しなかった（理由：当時制度がなかったから）
- ・取得しなかった（理由：その他）

【設問 33】 設問 32 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 34】 これまで、「子どもの看護休暇」を取得したことがありますか。

※ 設問 5 で「ある（予定がある）」のうち（予定がある）とした職員は対象外

- ・取得したことがある
- ・取得したことがない
- ・制度がなかった

【設問 35】 「取得したことがない」理由について、当てはまるもの全てを選んでください。

- ・取得する必要がなかったから
- ・職場に迷惑をかけるから
- ・業務が多忙であったから
- ・職場が行使しにくい雰囲気であったから
- ・制度をよく知らず、取得できるか分からなかったから
- ・年次有給休暇で対応した
- ・その他

【設問 36】 設問 35 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 37】 あなたが年次有給休暇を取得する考え方として、当てはまるもの1つを選んでください。

- ・繰越日数も含め、なるべくたくさん休む
- ・繰越日数を残し、たくさん休む
- ・周りの人が休む程度に休む
- ・必要な時に休む
- ・基本的には休まない
- ・休めない
- ・その他

【設問 38】 設問 37 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 39】 年次有給休暇を取得することにためらいを感じますか

- ・ためらいを感じる
- ・ためらいを感じない

【設問 40】年次有給休暇を取得することに「ためらいを感じる」理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・昇級や査定に悪い影響があると感じる
- ・みんなに迷惑がかかると感じる
- ・休むと、後で多忙になる
- ・上司がいい顔をしない
- ・職場の雰囲気取得しづらい
- ・その他

【設問 41】設問 40 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 42】年次有給休暇を取得することに「ためらいを感じない」理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・当然の権利である
- ・仕事のできる人ほど効率的に休む
- ・休んでも後で仕事に影響は生じない
- ・休んでも周りに迷惑をかけない
- ・所属長や上司から取得するように言われる
- ・職場の雰囲気年次有給休暇を取得しやすい
- ・その他

【設問 43】設問 42 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 44】特別休暇を取得することにためらいを感じますか。

- ・ためらいを感じる
- ・ためらいを感じない

【設問 45】特別休暇を取得することに「ためらいを感じる」理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・昇級や査定に悪い影響がある
- ・みんなに迷惑がかかると感じる
- ・休むと、後で多忙になる
- ・上司がいい顔をしない
- ・職場の雰囲気取得しづらい
- ・その他

【設問 46】設問 45 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 47】特別休暇を取得することに「ためらいを感じない」理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・当然の権利である
- ・仕事のできる人ほど効率的に休む
- ・休んでも後で仕事に影響は生じない
- ・休んでも周りに迷惑をかけない
- ・所属長や上司から取得するように言われる
- ・職場の雰囲気ですべて取得しやすい
- ・その他

【設問 48】 設問 47 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 49】 休暇の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として、当てはまるものの全てを選択してください。

- ・業務遂行体制の工夫・見直し
- ・職場の意識改革
- ・衛生委員会における取得状況の把握・促進
- ・取得しやすい職場の雰囲気づくり
- ・年次有給休暇取得計画表等の作成・実施
- ・職場内での業務予定等の早期周知、情報共有
- ・GW期間、夏季等における連続休暇の取得促進
- ・その他

【設問 50】 設問 49 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 51】 あなたは「豊後大野市職員の勤務時間、休暇等に関する規則」において、超過勤務の上限が①1 か月に 45 時間、②1 年に 360 時間であるということを知っていますか。

- ・知っている
- ・知らない

【設問 52】 あなたの超過勤務についての考え方として、当てはまるもの 1 つをお答えください。

- ・できるだけ超過勤務をしない
- ・周りの人と同程度の超過勤務をする
- ・仕事の状況もあり超過勤務減らすことはできない
- ・家計の足しと考えている
- ・その他

【設問 53】 設問 52 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 54】 超過勤務を減らすために効果的と思われる方法について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・超過勤務を減らす職場全体の雰囲気づくり

- ・事務事業の見直し（効率化、簡素化、合理化等）
- ・その日の終了時間を表示する等のスケジュール管理（目標管理）
- ・課・係を超えた協力体制の確立
- ・ノー残業デー等の徹底
- ・個々の職員の心がけ
- ・所属長による業務管理及び健康管理の徹底（マネジメント）
- ・その他

【設問 55】 設問 54 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 56】 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします。あなたは、現在、仕事と生活のどちらを優先していますか。当てはまるもの1つを選択してください。

- ・仕事
- ・どちらかといえば仕事
- ・同じくらい
- ・どちらかといえば生活
- ・生活

【設問 57】 今後、仕事と生活のどちらを優先させたいと考えていますか。当てはまるもの1つを選択してください。

- ・仕事
- ・どちらかといえば仕事
- ・同じくらい
- ・どちらかといえば生活
- ・生活

【設問 58】 現在、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると感じますか。

- ・感じている
- ・感じていない

【設問 59】 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていないと感じる理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・業務が多忙であるから
- ・定時に帰れない環境であるから
- ・休めない環境であるから
- ・地域活動（地区、学校関係等）に関する負担が大きいから
- ・事情により家庭を優先しなければならない状況であるから
- ・その他

【設問 60】 設問 59 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 61】子育てに関する意識についてお聞きします。子育てに関する男性・女性の役割についてどのようにお考えですか。当てはまる全てを選択してください。

- ・主に男性が働き、女性が子育てをすればよい
- ・基本的に女性の役割であり、男性はそれを手伝う程度でよい
- ・仕事や子育てに性別は関係なく、役割は同様である
- ・基本的に男性の役割であり、女性はそれを手伝う程度でよい
- ・主に女性が働き、男性が子育てをすればよい
- ・その他

【設問 62】設問 61 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 63】今後、男女が共同して家庭生活（家事、育児、介護等）や地域活動へ参加をしていくために必要なこととして、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・男性の抵抗感をなくすこと
- ・女性の抵抗感をなくすこと
- ・夫婦等お互いの立場を理解し、コミュニケーションを図ること
- ・職場における理解を深めること
- ・超過勤務の縮減や休暇制度の理解及び取得を促進すること
- ・男性の家事等の参加について、社会的な評価が高まること
- ・研修等により、男性の家事、子育て、介護等の技術を高めること
- ・家事等に参加するための仲間（ネットワーク）づくりを進めること
- ・仕事との両立の課題について、相談できる環境を作ること
- ・その他

【設問 64】設問 63 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 65】仕事におけるキャリアの考え方を伺います。あなたは自身のキャリアについて具体的に考えていますか。

- ・考えている
- ・考えていない

【設問 66】自身のキャリアを考える上で不安に感じることについて、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・経験や知識不足
- ・仕事と家庭生活を両立しなければならないという負担感
- ・自身の体調や家族で抱える問題と仕事の両立
- ・昇任に伴う職責への重圧
- ・今後のキャリアのイメージがわからないこと
- ・配置や業務経験の隔たり等に伴う経験不足

- ・希望する職場に職の枠があるか分からないこと
- ・その他

【設問 67】 設問 66 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 68】 管理職（参事級以上）への昇任についての考え方を伺います。

- ・昇任したい
- ・分からない
- ・昇任したくない
- ・既に管理職（参事級以上）である

【設問 69】 管理職（参事級以上）への昇任を望まない理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・管理職に魅力を感じないから
- ・責任の重い職に就きたくないから
- ・自分の能力に自信がないから
- ・給与等に見合わないから
- ・体調面で職責を果たせないから
- ・家庭等の事情で職責を果たせないから
- ・仕事と家庭の両立ができなくなるから
- ・管理職に就くことでやりたい仕事ができなくなるから
- ・その他

【設問 70】 設問 69 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 71】 どのような環境・状況であれば管理職（参事級以上）になりたいと考えますか。当てはまるもの全てを選択してください。

- ・管理職手当が上がること
- ・希望する部署で昇任できること
- ・育児の心配がないこと
- ・介護の心配がないこと
- ・家事の心配がないこと
- ・長期休暇が取得できること
- ・得意分野の業務に従事できること
- ・管理職になる前となった時にサポート体制があること
- ・その他

【設問 72】 設問 71 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 73】退職の時期についてお伺いします。あなたは定年まで働くことを考えていますか。

- ・定年まで働く
- ・定年まで働かない

【設問 74】定年までの勤務を望まない理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・十分に働いたから
- ・働く必要がない状況となったから
- ・他にやりたいことがあるから
- ・身体的理由によるもの
- ・精神的理由によるもの
- ・介護等家族の事情によるもの
- ・仕事に対する自信がないから
- ・その他

【設問 75】設問 74 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 76】ハラスメントについてお伺いします。あなたは、過去5年間に何らかのハラスメントを経験（受けた、した、見た、聞いた）しましたか。

- ・経験した
- ・経験していない
- ・分からない

【設問 77】どのような形で経験しましたか。当てはまるもの全てを選択してください。

- ・ハラスメントを受けた
- ・ハラスメントをした（したかもしれない）
- ・ハラスメントを見た
- ・ハラスメントを聞いた

【設問 78】あなたが経験（受けた、した、見た、聞いた）したハラスメントの種類について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・パワーハラスメント
- ・セクシュアルハラスメント
- ・モラルハラスメント
- ・マタニティハラスメント
- ・パタニティハラスメント
- ・ケアハラスメント
- ・ジェンダーハラスメント
- ・アルコールハラスメント

【設問 79】ハラスメントを受けた時、相談等を行いましたか。

- ・相談した
- ・相談しなかった

【設問 80】 相談等の相手について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・職場の同僚（他の職場も含む）
- ・職場の上司（他の職場も含む）
- ・自身が感じる加害者
- ・家族
- ・相談窓口
- ・職員組合
- ・その他

【設問 81】 設問 80 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 82】 ハラスメントを受けた時「相談しなかった」理由について、当てはまるもの全てを選択してください。

- ・相談しても何も変わらないと思ったから
- ・相談することで自分の立場が悪くなると思ったから
- ・個人的感情であり、ハラスメントに該当するか分からなかったから
- ・自分が我慢すれば良いと思ったから
- ・相談相手がいなかったから
- ・相談先を知らなかったから
- ・その他

【設問 83】 設問 82 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 84】 「次世代育成支援対策」に効果的と思われる豊後大野市役所としての取り組みについて、当てはまるもの全てを選択してください。

※ 「次世代育成支援対策」

次世代育成支援対策推進法により、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、安全安心な環境で育っていけるための取り組みを定めたもの。

地方公共団体は、事業主として、子育て支援、親子の健康確保、仕事と家庭の両立等についての「特定事業主行動計画」を策定することが求められている。（対象は職員）

- ・妊娠中及び出産後に関する休暇や制度の情報提供
- ・子育て中の職員に対する配属や勤務形態への合理的な配慮
- ・職場優先の環境を是正する取組
- ・固定的な性別役割分担意識を是正する取組
- ・超過勤務を減らす環境づくり
- ・事務事業の見直し（効率化、簡素化、合理化等）によるワークライフバランスの実現

- ・ハラスメントを生じさせない環境づくり
- ・その他

【設問 85】 設問 84 で「その他」を選択した方はその内容をお書きください。

【設問 86】 男性職員の「育児休業」取得についてご意見がありましたらご記入ください。未婚の方は、取得の意向も含めご記入ください。

【設問 87】 豊後大野市職員の子育て支援の充実を図るためにご意見がありましたらご記入ください。

【設問 88】 豊後大野市職員の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」実現のためにご意見がありましたらご記入ください。